

新川崎新設小学校基本計画デザインワークショップ 実施概要

1. ワークショップの目的

- ①新設小学校の計画に際し、建築計画のあり方について話し合います。
 - ・教員の立場から小学校の利用方法、学習行動などについて議論をし、教育の現場の意見を建築計画に反映させます。
 - ・普通教室、普通教室廻り、特別教室等の間取り・設えや、学校全体の構成に係る学年クラスターの考え方、生徒数増減に対する計画的考え方などについて、意見を出し合います。
- ②協働の小学校づくりを推進する「場づくり」
 - ・行政の現場、教育の現場、建築家による意見の共有を目指し、今後の協働に向けた「場づくり」の土壌を作ります。
 - ・今後の川崎市における小学校づくりに教員の参加を推進するモデル的な取組みとなることを目指します。

2. 基本計画検討委員会におけるワークショップの位置づけ

- ①基本計画策定の参考意見とします。
 - ・新設小学校の建築計画について本ワークショップでの意見交換の内容を集約し、「新設小学校基本計画」策定の際の参考意見として考慮します。
- ②ワークショップでの意見交換を展開します。
 - ・本ワークショップでの意見交換は、それ自体が一つの成果と考え、今後の川崎市の小学校計画に対する共有資料とすべく広く展開することを検討します。
- ③設計者に対する参考資料とします。
 - ・ワークショップでの意見は、必要に応じて平成 26 年度以降の設計担当者にも縦覧します。

(出席予定者)

行政にいる教員	指導課指導主事、幸区・教育担当指導主事 宮前区・教育担当指導主事、カリキュラムセンター室長、 情報・視聴覚センター指導主事
教員	御幸小学校教員、はるひ野小学校教員
学識経験者	首都大学東京理事
行政事務職員	教育環境整備推進室、建築家、設備・環境専門家

3. ワークショップの作業内容と日程

回数(日程)	第1回 (9/27 御幸小学校) 15:00~17:00	第2回 (10/1 御幸小学校) 15:15~17:00	第3回 (10/2 はるひ野小学校) 15:00~17:00
プロローグ	①オリエンテーション ・ワークショップの全体目的、第一回目の目的・到達点について、事務局より説明。	①オリエンテーション ・ワークショップの全体目的、第二回目の目的・到達点について、事務局より説明。	①オリエンテーション ・ワークショップの全体目的、第三回目の目的・到達点について、事務局より説明。
	②自己紹介 ③基本構想のレビュー ・自己紹介 ・事務局より計画条件、地区の現況や課題、普通教室廻りの検討内容について基本構想での検討内容をレビュー	②首都大学東京上野理事ミニ講義 ・国内外の学校の事例を紹介 ③第一回のおさらい ・事務局より第一回での意見を紹介。	②基本構想のレビュー ・事務局より特別教室廻りを中心に基本構想での検討内容をレビュー
意見交換	④基本構想の内容について意見交換	④普通教室廻りに関連する事項についての意見交換 ・自由に意見交換（議論の視点、以下） ・学年クラスターについて －発達段階ごとの配置構成の許容範囲 －多目的室の設えについて －学級数の増減への対応等（将来の有効活用） ・普通教室廻りにについて －普通教室と多目的スペースの連続性について －学習活動に対応する教室の広さ －学年に応じた教室、多目的室の設え －多目的室を有効に活用するカリキュラム	③標準的な授業時数における学級数ごと教科の授業時数に関する資料の紹介 ・事務局より、主に特別教室を利用する教科に関する調査結果について報告
	⑤御幸小学校での取組みのご紹介 ・御幸小学校における学年配置の考え方、オープンスクールにおける学習活動、児童支援コーディネーターの取組み等を紹介		④学習活動に関する調査内容の紹介（2） ・事務局より、学習指導要領からの検討資料を紹介
	⑥学年クラスターについて意見交換 ・学年クラスターの参考例を利用し、意見交換 ・大規模校の運営に関する事例紹介（事務局） ・自由に意見交換（議論の視点、以下） －発達段階ごとの配置構成の許容範囲 －多目的室の設えについて －学級数の増減への対応等（将来の有効活用）		⑤特別教室に関する意見交換 ・主な諸室について以下の順番等で意見交換 －家庭科室 －生活科室 －図工室 －理科室1 －音楽室 －外国語活動室 －図書室 －コンピュータ室 －特別教室の配置
	⑦学習活動に関する調査内容の紹介（1） ・事務局より、主に普通教室廻りでの学習活動の調査結果について報告		
	⑧普通教室廻りについて意見交換 ・普通教室の配置例を利用し、意見交換 ・情報・視聴覚センター指導主事に意見を伺う。 ・御幸小の児童支援コーディネーター、教員から意見を伺う。 ・自由に意見交換（議論の視点、以下） －普通教室と多目的スペースの連続性について －学習活動に対応する教室の広さ －学年に応じた教室、多目的室の設え －多目的室を有効に活用するカリキュラム	⑤教職員に対するスペースの考え方 ・会場となる御幸小学校からの意見 ・知的生産性に関する情報提供 ・参考検討例の紹介 ・自由に意見交換（議論の視点、以下） －教職員のコミュニケーション －知的生産性の向上 －職員の作業場所（職員室、担当教室等） －リラックス、リフレッシュ	
まとめ	⑨まとめ	⑥まとめ	⑥まとめ